

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	都市再開発等推進事業			事業番号	017-060
担当部署名	建築都市	局	都市整備	部	中百舌鳥・拠点整備担当 課

### I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出
			有	取組の方向性	③都市拠点にふさわしい駅前空間の創出と交通利便性の向上		
		寄与するKPI	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数		
		有	現状値	74件(5年(2015～19年度)の累計)	目標値	100件(2021～25年度の累計)	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進		
寄与するKPI		有・無	指標名	—			
	無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	堺グランドデザイン2040、堺市都市計画マスタープラン、地域再生計画					
3	事業開始年度	令和 1 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	都市計画法、都市再開発法					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、民間企業、地域団体、その他 (NAKAMOZUイノベーションコア創出コンソーシアム)					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	民間企業、地権者、駅周辺住民・駅利用者	対象数	—		単位	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市有地等の利活用に向けた検討を進め、民間活力を生かした駅周辺の都市機能の更新等により、利便性や快適性の向上と、地域の活性化をめざす。中百舌鳥エリアにおいては、大学や産業支援機関、スタートアップ企業などが集積し、ビジネス・学術での交流機会が創出され、産学官連携などによる新たな技術やビジネスが生まれるイノベーション創出拠点の形成をめざす。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など  ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有地等の利活用における民間活力導入の検討に向けた基礎資料の作成、市場調査等の実施</li> <li>市有地の利活用における民間活力導入に向けた実施方針の検討</li> <li>産学官によるコンソーシアムの運営 (中百舌鳥エリア)</li> </ul>					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	コンサルタント、コンソーシアム					
10	公民連携・協働事業	産学官によるコンソーシアムの設立 ・地域団体との連携					

### II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了(予定)年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
11 市有地等の利活用の件数	件	目標値	—	0	0	2
		実績値	—	0		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		都市拠点における都市機能の更新に向け、実際に動かしていくことが本事業の目的につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		駅前空間等の都市拠点における市有地等の利活用に向け、具体的に動き出した件数を算出				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
12 実施主体となる団体との協議会等への出席回数	回	目標値	—	5	5	
		実績値	—	8		
		達成率	—	160%		
当該指標を選定した理由		市有地等の利活用に向けて具体的に動かすためには、関係者の意向のバランスを取りながら、協議を重ね、調整し、進める必要があるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		実施主体となる団体との協議会等へ市が出席した回数を算出				

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	都市再開発等推進事業	事業番号	017-060
-------	------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	9,020	16,662	28,257	26,293	63,581
13 財源内訳	国支出金		5,000	4,654	17,679
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ( )				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	9,020	16,662	23,257	21,639	45,902
14 人件費 (b)	16,200	19,598	59,450	59,450	59,860
15 年間経費(c)=(a)+(b)	25,220	36,260	87,707	85,743	123,441

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源	
								16 事業費内訳
拠点周辺における都市機能更新に関する調査検討支援業務等	R3 決算	16,344	16,344		R3 決算			
	R4 予算	53,764	40,585		R4 予算			
	コンソーシアム負担金等	R3 決算	9,786	5,132		R3 決算		
		R4 予算	9,500	5,000		R4 予算		
	事業者選定委員会委員報酬	R3 決算	163	163		R3 決算		
		R4 予算	317	317		R4 予算		
		R3 決算				R3 決算		
		R4 予算				R4 予算		
	R3 決算				R3 決算			
	R4 予算				R4 予算			

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
17 ① 実施団体との協議会等への出席回数	回	-	8
② 上記①にかかる年間経費	千円	-	3,429
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		428,625
備考 (算出についての説明等)	津久野駅前プロジェクト協議会 (総会 1回、役員会 7回)、津久野開連補助金額と関連する人件費で年間経費を算出		

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	市有地等の利活用に向け、業務の内容により発注形式（一般競争入札やプロポーザル）を使い分け、基礎資料の作成、民間活力の導入に向けた事業スキームの検討、コンソーシアムの運営支援などの業務を効率的に実施した。
----	---

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	市有地等の利活用に向け、基礎資料の作成、民間活力の導入に向けた事業スキームの検討、コンソーシアムの運営支援など、事業の推進を図った。
----	--